

平成27年度まちづくりふれあいトーク
で出された質問や要望の対応について

【余川地区】

氷 見 市

区分	地区 No.	年度	地区	項目	意見の内容	回答	対応策または 不可能な理由等	対応可能性と着手 を含む対応時期 (平成28年4月)	28年度担当部署
会場	1501	27	余川	教育	旧余川小学校体育館の天井。今後どのような流れで対応ができるのか？	9月補正予算で対応予定です。防災対策上の観点から有効と判断しました。建て替えると1億数千万円です。天井を取り外す方法で対応する予定です。	平成28年1月に工事が完成しています。	☒ 可能 ☐ ■対応済 ☐ □年度内 ☐ □次年度以降 ☐ □未定 ☐ 参考意見 ☐ 不可能	教育総務課 総務企画担当 74-8211
会場	1502	27	余川	道路管理	市道と畑の境目をしっかり判断したい。市へ声をだせば対応してもらえるのか？工事も市で行ってもらえるのか？	所有者で工事を行ってもらいます。書類の申請が必要ですので建設課へ相談してください。	市道との境界確認を希望された場合、市、所有者、時には集落の方を交えて境界の確認を行います。側溝など構造物を設置するにあたっては、道路法第24条の申請が必要となりますので建設課へ相談をお願いします。なお、費用は原因者負担となります。	☐ 可能 ☐ □対応済 ☐ □年度内 ☐ □次年度以降 ☐ □未定 ☒ 参考意見 ☐ 不可能	建設課 道の管理担当 30-7070
会場	1503	27	余川	総務	国勢調査があるが、市からの宣伝がないがどうなっている？	国勢調査にご協力をお願いします。インターネット回答が可能です。調査員が声かけしますのでお願いします。 日本の人口は140年間で9000万人増えました。60年前は7000万人。急激な人口減を意識してほしいです。	今年2月に国勢調査の人口速報が発表され、本市の人口は48,012人でした。5年前の国勢調査では、51,726人でした。今年10月以降、人口等基本集計結果が公表される予定となっています。	☒ 可能 ☐ ■対応済 ☐ □年度内 ☐ □次年度以降 ☐ □未定 ☐ 参考意見 ☐ 不可能	総務課 総務・情報公開担当 74-8024
会場	1504	27	余川	林道	稲積・谷村線の中間の傾斜が激しく、排水が余川方向に流れることになっている。政策上は一般の「山道」という解釈となっている。直す方法はないか？個人のみでなく、地区に影響がでてきてしまう。「林道」との解釈により修繕をお願いしたい。	何か方法はあります。今年度予算がついて、修繕予定であったはずですが、帰って正確に確認して報告します。	林道改良工事と合わせて修繕を実施し、平成28年6月に完成しました。	☒ 可能 ☐ ■対応済 ☐ □年度内 ☐ □次年度以降 ☐ □未定 ☐ 参考意見 ☐ 不可能	建設課 農林業基盤整備担当 30-7011

区分	地区 No.	年度	地区	項目	意見の内容	回答	対応策または 不可能な理由等	対応可能性と着手 を含む対応時期 (平成28年4月)	28年度担当部署
会場	1505	27	余川	いのし い	イノシシ対策の電気柵を設置した。助成は1回のみであると聞いた。3年で消耗するようだが、いのししは3年で居なくなるのか？実際に助成は1回のみか？	1回であるかは、正確に判断できません。3年で消耗するわけではなく、使い方によっては、更に耐久性はあるはずです。イノシシ対策課に確認して回答します。 中国地方では、年間で数万頭獲れており、氷見も可能性があります。イノシシが住みづらい環境を作ろうとしています。裏山の栗の木やいちぢくの木を食べているので、断腸の思いで家の土地の木々を切って、環境を排除することも大切です。	イノシシの電気柵の購入について、市で補助金を交付しております。使用方法によって耐用年数は前後する場合がありますが、市では電気柵の耐用年数を8年と定めております。そのため、一度補助金の交付を受け、電気柵を設置した圃場については、8年間補助金の交付を受けることができません。国交付金や市補助金により電気柵を設置していない圃場又は設置から8年を経過した圃場については、個人10万円、団体(営農組合等)30万円を上限に補助金の交付を受けることができます。	☐ 可能 ☐ 対応済 ☐ 年度内 ☐ 次年度以降 ☐ 未定 ☒ 参考意見 ☐ 不可能	農林畜産・いのしし等対策課 農業・畜産・いのしし等担当 74-8086
会場	1506	27	余川	公共交 通	事故を起こし、認知症が悪化し運転免許証を手放した例がある。高齢になったときに、自分自身が車を手放すことが心配。街へ出るときの手段(コミュニティバス)を増やすことはできないか。	氷見市の面積の3%のなかに43%が住んでいて、コンパクトシティになっています。中山間地域の移動手段が一番大切です。公共交通のあり方を地方創生の中で協議していきます。明確な回答はできませんが、皆の要望に応えることができるよう対応します。NPO(基石地区など)のような団体を設立する地区もあります。	現在、NPOバスの運行を支援するため、年間500万円を上限として、補助金を交付しています。 現在、NPO法人余川谷で、平日3.5往復、土日祝日2往復で15人乗りのコミュニティバスを2台体制で運行していますが、定員には余裕があるそうです。 コミュニティバスの運営方法については、利用促進、会費、増便等、NPO法人の中で話していただければと考えております。	☐ 可能 ☐ 対応済 ☐ 年度内 ☐ 次年度以降 ☐ 未定 ☒ 参考意見 ☐ 不可能	都市計画・コミュニティデザイン応援課 公共交通担当 30-2949
質問	1551	27	余川	防災	原発事故発生時、南方面に逃げるとなっていますが風向きを示すスピーディを活用したい。市民にわかるようにしてください。	福島第一原子力発電所事故の教訓として、原子力災害発生時に、いつどの程度の放出があるかを把握すること及び気象予測の不確かさを排除することはいずれも不可能であり、SPEEDIによる計算結果に基づいて防護措置の判断を行うことは、被ばくのリスクを高めかねないとの理由により、SPEEDIによる計算結果は使用されないこととされました。	平成28年3月11日の原子力関係閣僚会議でSPEEDIは自治体の裁量で活用できる旨の方針が示されましたが、原子力規制委員会は、改めて緊急時の活用について否定的な見解を示している現状にあります。 このことから、市では、県(7月5日)、国(8月4日)に対して、緊急時におけるSPEEDI等の放射性物質の大気中拡散予測の具体的活用方法を明示するよう要望したところです。	☐ 可能 ☐ 対応済 ☐ 年度内 ☐ 次年度以降 ☐ 未定 ☒ 参考意見 ☐ 不可能	地域防災室 74-8021
質問	1552	27	余川	教育	北部中と灘浦中の統合問題	平成29年4月に灘浦中学校と北部中学校が統合します。現在、両校の保護者等を構成員とする統合準備委員会を開催し、スクールバスの運行や交流事業など、統合の準備を進めています。		☒ 可能 ☐ 対応済 ☐ 年度内 ☐ 次年度以降 ☒ 未定 ☐ 参考意見 ☐ 不可能	教育総務課 総務企画担当 74-8211